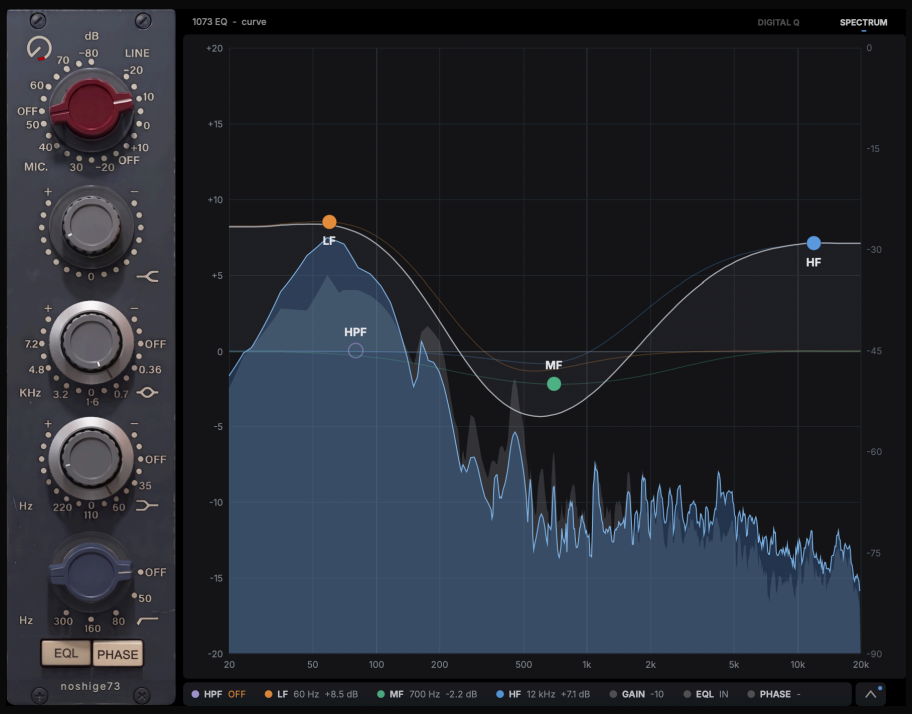
noshigeSound



ユーザーマニュアル

noshige73

1073 系コンソール EQ

VST3 AU AAX

2026-11

© 2026 noshigeSound Co. Ltd.

目次

1 はじめに 4
1.1 主な機能 4
1.2 このマニュアルについて 4
2 インストール 5
2.1 動作環境 5
2.2 インストーラーの入手 5
2.3 macOS へのインストール 5
2.4 Windows へのインストール 6
2.5 インストールされる場所 6
2.6 アップデート 6
2.7 アンインストール 6
3 クイックスタート 7
4 画面の構成 8
4.1 フェイスプレートとグラフィック EQ ペイン 8
4.2 ヘッダーバー 9
4.3 ノブとスイッチの操作 10
4.4 ウィンドウサイズの変更 11
4.5 Config メニュー 11
4.6 バージョンの確認 12
5 コントロール 13
5.1 フェイスプレート 13
5.2 ステレオトラック 15
5.3 バイパス 15
6 グラフィック EQ ペイン 17
6.1 カーブ 18
6.2 ペインのヘッダー 18
6.3 バンドポイント 19
6.4 TRIM / MIX ドロワー 20
6.5 フッターストリップ 21
7 ワイド表示とコンパクト表示 23
7.1 コンパクト表示のヘッダーバー 23
7.2 ウィンドウのサイズ 24
8 LITE と PRO 25
8.1 グレードの選択 25
8.2 PRO トライアル 25
8.3 PRO カード 26
9 Auto Gain 28
9.1 オンにする 28
9.2 3 つのモード 28
9.3 適用されるゲイン 29
9.4 知っておきたいこと 29
10 処理エンジン：GPU と CPU 30
10.1 GPU 処理の要件 30
10.2 レイテンシ 30
10.3 エンジンの選択 31
10.4 Remember Engine 31
10.5 GPU の処理が間に合わない場合 31
11 プリセット、A/B、アンドゥ 32
11.1 プリセット 32
11.2 プリセットの保管場所 33
11.3 ファクトリープリセット 34
11.4 A/B 比較 36
11.5 アンドゥとリドゥ 37
12 ライセンスとアクティベーション 38
12.1 オンラインでアクティベートする 38

12.2 オフラインのコンピューターをアクティベートする 40
12.3 コンピューターの管理 43
12.4 アクティベーション後について 43
12.5 License パネル 43
13 トラブルシューティング 45
13.1 お問い合わせ 46
仕様 47
DAW から見えるパラメーター 47
法的事項 49

第 1 章

はじめに

noshige73 は、AI がパラメトリックにモデリングした 1073 系コンソール EQ です。モデルは、ハードウェアの EQ セクションを、すべてのコントロールの全範囲にわたって学習しています。12 kHz のハイシェルフ、6 つの周波数から選べるミッドピーク、4 つの周波数から選べるローシェルフ、4 つの周波数から選べるハイパスフィルターの 4 セクションです。ゲインに応じてバンドの幅が変わる挙動を含め、どのスイッチ位置、どのゲイン設定でも実機に沿って動作します。

ウィンドウは左右 2 つの部分に分かれています。左側は、実機と同じ配置のフェイスプレートです。右側のグラフィック EQ ペインには、入力と出力のスペクトラムに重ねて EQ カーブが描かれ、バンドを直接ドラッグして操作できます。noshige73 には、1 つのインストールの中に 2 つのグレードがあります。LITE は無料で、アカウントもライセンスも不要です。PRO は有料のフルサイズモデルです。

1.1　主な機能

- **4 つの EQ セクション**：ハイパスフィルター（50 〜 300 Hz）、ローシェルフ（35 〜 220 Hz）、ミッドピーク（360 Hz 〜 7.2 kHz）、12 kHz のハイシェルフ。ゲインを持つ 3 バンドは、それぞれ ±16 dB の連続可変です
- **グラフィック EQ ペイン**：ドラッグできるバンドポイント、入力と出力のスペクトラム、各バンドに可変の Q を追加する DIGITAL Q
- **レベルの調整**：5 dB 刻みのインプットゲイン、IN TRIM、OUT TRIM、MIX、PHASE、Auto Gain（Track / Static / Snap の 3 モード）
- **LITE と PRO**：LITE は無料で、ライセンスも不要です。PRO は有料のフルサイズモデルです。機能はどちらも同じです
- **GPU / CPU 処理**：自動で選択され、インスタンスごとに切り替えられます
- **62 種類のファクトリープリセット、フォルダーで整理できるユーザープリセット、A/B 比較、アンドゥ／リドゥ**、コンパクト表示、50 % 〜 300 % でサイズ変更できるウィンドウ

1.2　このマニュアルについて

プラグインの画面に表示される文字は DIGITAL Q のように示します。キーやマウスの操作は `Shift` + クリック のように、ファイル名やフォルダー名は `Presets` のように示します。

本文中の囲みは、次の 3 種類です。

> **重要**
> 見落とすと、音が出なくなったり設定が失われたりする事柄です。

> **ヒント**
> 知っておくと便利な使い方です。

> **メモ**
> 動作の理由など、補足の説明です。

第 2 章

インストール

2.1 動作環境

項目	要件
プラグイン形式	macOS: VST3 / AU / AAX Windows: VST3 / AAX
macOS	Intel Mac は macOS 10.13 以降、Apple Silicon Mac は macOS 11 以降（Universal）。
Windows	Windows 10 以降、64 ビット（x64）。
サンプルレート	44.1 / 48 / 88.2 / 96 kHz
チャンネル	モノラルまたはステレオ。入力と出力のチャンネル数は同じである必要があります。
GPU 処理（任意）	Mac: Apple Silicon（M1 以降）、macOS 11 以降。 Windows: NVIDIA GeForce GTX 10 〜 RTX 40 シリーズ、ドライバ 452.39 以降。 該当しない環境では CPU で動作します。詳しくは「処理エンジン」の章をご覧ください。
ライセンス	1 つのライセンスを最大 3 台のコンピューターで使えます。

ライセンスが必要なのは PRO だけです。LITE は、ライセンスもアカウントもなしでお使いいただけます。

2.2 インストーラーの入手

インストーラーは noshigesound.com/downloads からダウンロードできます。トライアルと製品版は同じインストーラーですので、ご購入後にダウンロードし直す必要はありません。サインイン済みの場合は noshigesound.com/account/downloads にも表示されます。

2.3 macOS へのインストール

1. `noshige73-x.x.x.dmg`（`x.x.x` はバージョン番号です） を開き、中のパッケージをダブルクリックします。
2. 使用許諾契約を読み、同意します。
3. インストールする形式を選びます。最初は `VST3`、`Audio Unit`、`AAX (Pro Tools)` がすべて選ばれています。不要なものはチェックを外してください。
4. 管理者パスワードを求められたら入力し、インストールを完了します。
5. DAW を起動します。プラグインが一覧に出てこない場合は、DAW のプラグインスキャンを実行してください。

> **メモ**
> インストーラーは noshigeSound Co. Ltd. の署名と Apple の公証を受けています。「開発元を検証できません」と表示される場合は、ダウンロードしたファイルが壊れている可能性があります。もう一度ダウンロードしてください。

2.4 Windows へのインストール

1. `noshige73-x.x.x.exe`（x.x.x はバージョン番号です） を実行します。管理者権限の確認が表示されます。
2. 使用許諾契約を読み、同意します。
3. `Full installation` を選びます。コンポーネントを個別に選ぶ場合は `Custom installation` を選び、`VST3 plug-in`、`AAX plug-in (Pro Tools)` から必要なものにチェックを入れます。
4. インストールを完了し、DAW を起動します。必要に応じてプラグインスキャンを実行してください。

2.5 インストールされる場所

種類	macOS	Windows
VST3	`/Library/Audio/Plug-Ins/VST3/noshige73.vst3`	`C:\Program Files\Common Files\VST3\noshige73.vst3`
Audio Unit	`/Library/Audio/Plug-Ins/Components/noshige73.component`	—
AAX	`/Library/Application Support/Avid/Audio/Plug-Ins/noshige73.aaxplugin`	`C:\Program Files\Common Files\Avid\Audio\Plug-Ins\noshige73.aaxplugin`
プリセット	`~/Documents/noshigeSound/noshige73/Presets`	`Documents\noshigeSound\noshige73\Presets`

プラグインが必要とするモデルは、プラグイン本体に含まれています。ほかに入れるものはありません。GPU エンジンも、グラフィックドライバー以外のランタイムは不要です。

2.6 アップデート

新しいインストーラーをそのまま実行してください。プリセット、設定、アクティベーションはそのまま引き継がれます。インストール済みのバージョンは、プラグイン右上の歯車アイコンから `About` を開くと確認できます。

2.7 アンインストール

Windows: 「設定」→「アプリ」で `noshige73` を選んでアンインストールするか、スタートメニューの `Uninstall noshige73` を実行します。

macOS: アンインストーラーはありません。上の表にあるプラグイン本体のファイルを削除してください。

どちらの方法でも、プリセットと設定は残ります。不要な場合は、書類（Documents）フォルダー内の `noshigeSound/noshige73` フォルダーを手動で削除してください。

第 3 章

クイックスタート

1. DAW のモノラルまたはステレオのトラックに **noshige73 をインサート**します。メーカー名 noshigeSound、EQ 系プラグインの中にあります。
2. **まずは LITE でお使いください。**このコンピューターで PRO をアクティベートしていない限り、新しいインスタンスは無料の LITE で動作します。アクティベーションは必要ありません。PRO のライセンスをお持ちの場合は、「ライセンスとアクティベーション」の章をご覧ください。
3. **バンドをオンにして、ゲインを設定します。**フェイスプレートで、LF または MF の外側のリングを `OFF` から回して周波数を選び、内側のノブでブーストまたはカットします。HF は周波数が固定で、ゲインだけを設定します。
4. **グラフィック EQ ペインのポイントをドラッグして操作することもできます。**左右で周波数、上下でゲインが変わります。結果はカーブに表示され、スペクトラムには入力がグレー、出力が青で表示されます。
5. **音量をそろえます。**ヘッダーバーの `AUTO GAIN` をクリックすると、ラウドネスを入力時にそろえるメイクアップゲインが自動で適用されます。
6. **聴き比べます。**フェイスプレートの `EQL` ボタンで、EQ のオン・オフを切り替えられます。ヘッダーバーの `A / B` では、2 つの設定を切り替えて比較できます。
7. **保存します。**プリセット欄に名前を入力し、`Save` をクリックします。

> **ヒント**
> ファクトリープリセットから始めるのもおすすめです。プリセット欄の矢印をクリックして `Factory` を開き、素材に合ったプリセットを選んでください。

第 4 章

画面の構成

ウィンドウは、上部のヘッダーバー、左側のフェイスプレート、右側のグラフィック EQ ペインの 3 つの部分でできています。これがワイド表示で、新しいインスタンスはこの表示で開きます。フェイスプレートだけを表示するコンパクト表示については、「ワイド表示とコンパクト表示」の章をご覧ください。

4.1 フェイスプレートとグラフィック EQ ペイン

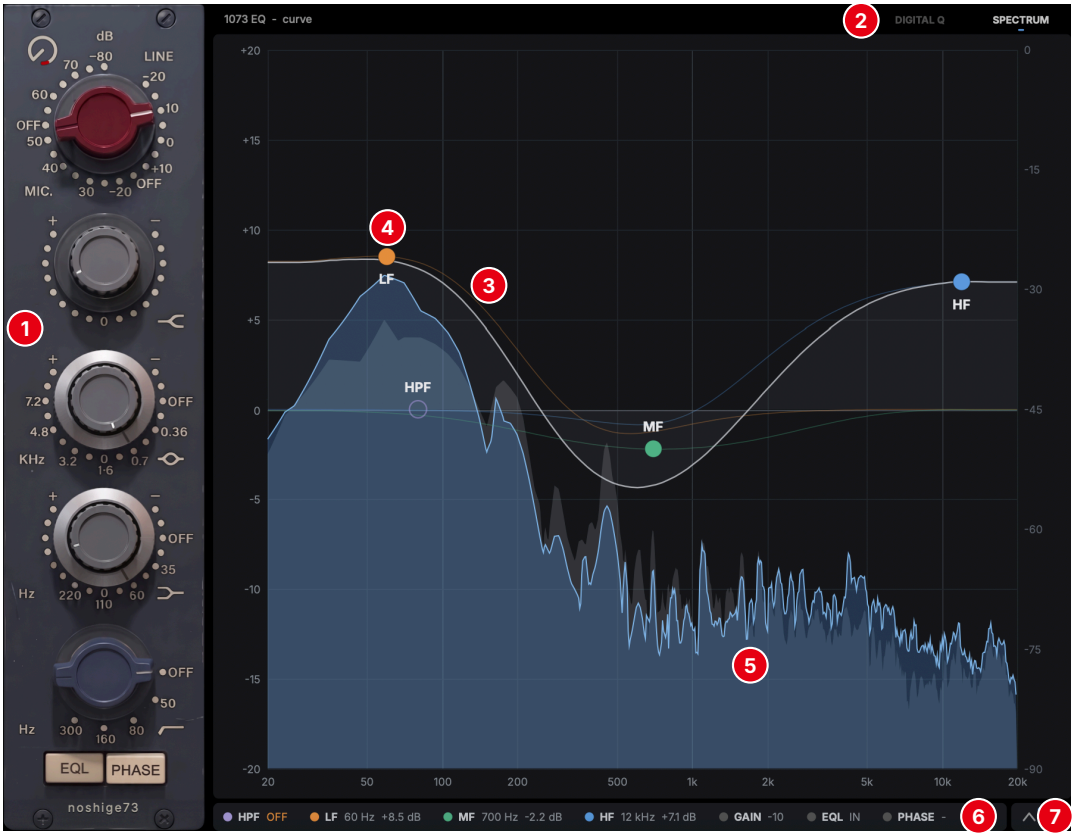


図 1　フェイスプレートとグラフィック EQ ペイン（ヘッダーバーは写っていません）

1	**フェイスプレート**	実機と同じコントロール：インプットゲイン、4 つの EQ セクション、`EQL`、`PHASE`。
2	**ペインのヘッダー**	`DIGITAL Q` と `SPECTRUM` のスイッチ。
3	**カーブ**	すべてのバンドを合わせた EQ カーブ。
4	**バンドポイント**	バンドごとのポイント。ドラッグして周波数とゲインを設定します。
5	**スペクトラム**	入力をグレー、出力を青で表示します。
6	**フッターストリップ**	現在の設定を文字で表示します。
7	**ドロワーのタブ**	`IN TRIM`、`MIX`、`OUT TRIM`、`PHASE` のドロワーを開きます。

フェイスプレートは「コントロール」の章、ペインは「グラフィック EQ ペイン」の章で説明します。

4.2 ヘッダーバー

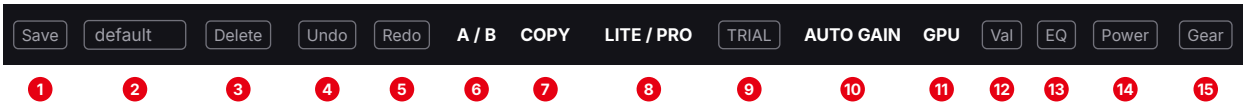


図 2　ワイド表示でのヘッダーバーの配置（模式図）

1	Save	現在の設定を、ご自身のプリセットとして保存します。
2	**プリセット欄**	現在のプリセット名を表示します（未選択のときは default）。矢印でプリセット一覧を開きます。名前の後ろのアスタリスクは、未保存の変更があることを示します。
3	Delete	読み込み中のプリセットを削除します（ご自身のプリセットのみ）。
4	**アンドゥ**	直前の操作を取り消します。
5	**リドゥ**	取り消した操作をやり直します。
6	A / B	2 つの設定を切り替えます。有効な側の文字が明るく表示されます。
7	COPY	現在の設定を、もう一方にコピーします。
8	LITE / PRO	グレードを選びます。有効な側の文字が明るく表示されます。
9	TRIAL	PRO がライセンスなしで動作している間だけ表示されます。ノイズが入っている間は NOISE に変わります。クリックすると PRO カードが開きます。
10	AUTO GAIN	クリックで Auto Gain のオン・オフ、右クリックでモードの選択。右側にメイクアップゲインが表示されます。
11	**エンジン**	GPU または CPU：使用中のエンジン。クリックで切り替えます。
12	**値表示**	小さなノブと吹き出しのアイコン（オンのとき青）。フェイスプレートのすべてのノブに値を表示します。
13	**EQ 表示**	小さなカーブのアイコン（ペイン表示中は青）。グラフィック EQ ペインの表示・非表示を切り替えます。
14	**電源**	プラグインをバイパスします（バイパス中は赤）。DAW のバイパスと連動します。
15	**設定**	歯車のアイコン。Config メニューを開きます。



図 3　ワイド表示のヘッダーバー

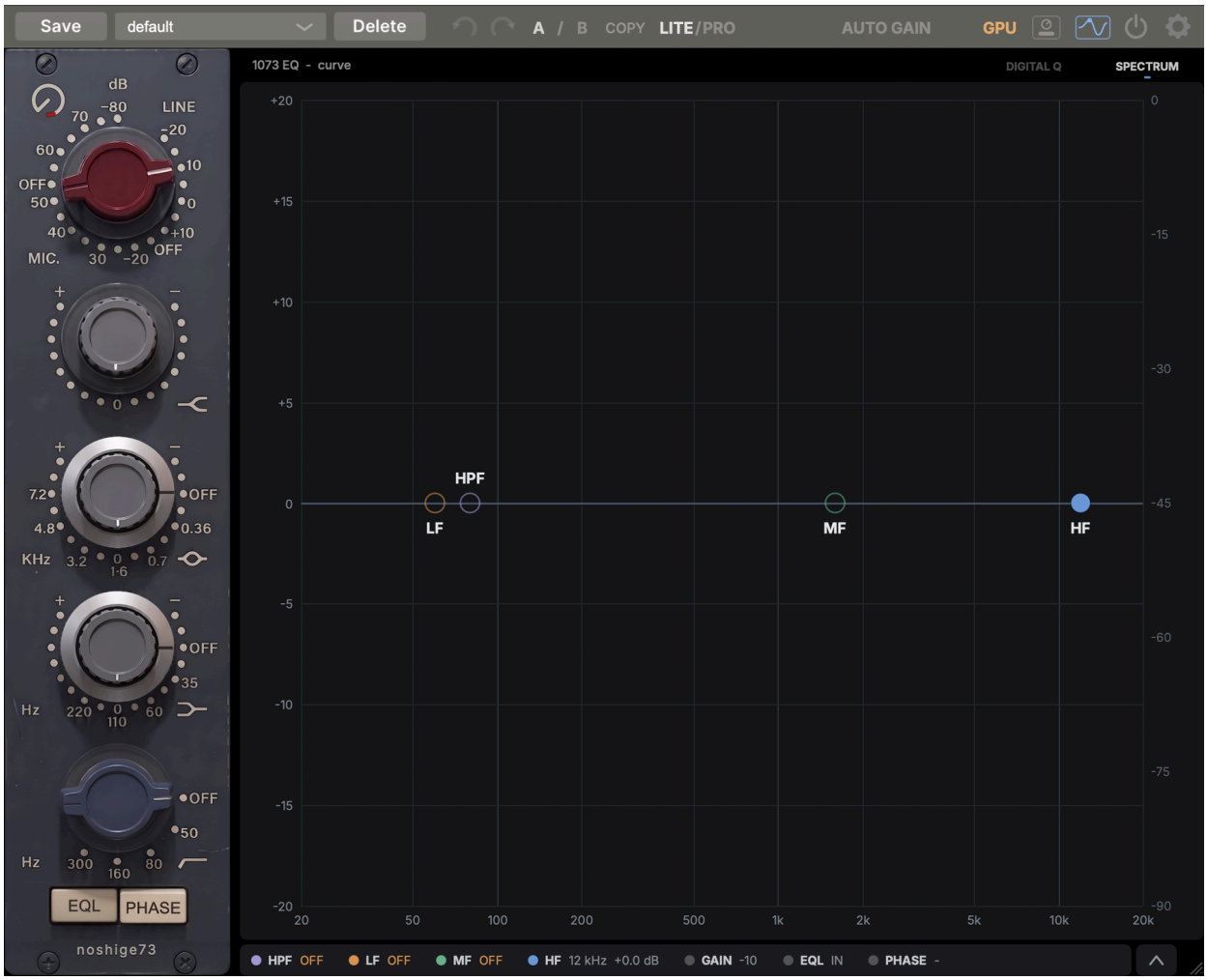


図 4　noshige73 のウィンドウ（ワイド表示）

4.3　ノブとスイッチの操作

操作	動作
ノブを上下または左右にドラッグ	ノブを回します。上または右にドラッグすると、時計回りに回ります。
ノブの上でマウスホイール	ノブを回します。
フェイスプレートのノブを右クリック（Mac は `Ctrl` + クリック）	初期値に戻します。
ゲインのノブ（HF、または MF / LF の内側のノブ）をダブルクリック	値（dB）を直接入力する欄が開きます。`Enter` で確定、`Esc` で取り消します。
二重ノブ（MF と LF）	内側のノブがゲイン、外側のリングが周波数です。回したい側をドラッグしてください。
`EQL` または `PHASE` をクリック	ボタンを押し込む、または戻します。
`EQL` または `PHASE` を下または上にドラッグ	下にドラッグで押し込み、上にドラッグで戻します。
TRIM / MIX ドロワーのノブ	ドラッグまたはマウスホイールで回します。ダブルクリックで初期値に戻ります。

値の表示

ヘッダーバーの値表示ボタン（小さなノブと吹き出しのアイコン）をクリックするか、Config メニューの `Always Show Values` を選ぶと、フェイスプレートのすべてのノブに現在の値が表示されます。二重ノブでは、中心の上側にゲイン、下側に周波数が表示されます。この設定は、このコンピューター上のすべての noshige73 に共通です。

この設定がオフの間は、ノブをドラッグしている最中も、フェイスプレートに値は表示されません。グラフィック EQ ペインのフッターストリップには、設定が常に文字で表示されています。

4.4　ウィンドウサイズの変更

右下隅のグリップをドラッグすると、ウィンドウを 50 % から 300 % の範囲で拡大・縮小できます。縦横比は保たれます。グリップを `Shift` + クリックすると 100 % に戻ります。

サイズはインスタンスごとに DAW のプロジェクトへ保存されます。最後に設定したサイズは、新しく挿入したインスタンスの初期サイズにもなります。

サイズの設定は、ワイド表示とコンパクト表示で共通です。

4.5　Config メニュー

ヘッダーバー右端の歯車アイコンをクリックすると、Config メニューが開きます。

項目	内容
`Get PRO...`	PRO カードを開きます。このコンピューターで PRO がアクティベートされていない間だけ表示されます。
`Always Show Values`	フェイスプレートのすべてのノブに値を表示します（ヘッダーバーの値表示ボタンと同じ）。
`Auto Gain`	サブメニュー：`Auto Gain`（オン・オフ）、モードの `Track (follows the material)`、`Static (controls only)`、`Snap (measured once on enable)`、および `Snap again`。
`ENGINE` : `GPU`, `CPU`	処理エンジンを選びます。使用中のエンジンにチェックが付きます。
`Remember Engine`	選んだエンジンを DAW のプロジェクトに保存します。初期状態でオンです。
`Open Presets Directory`	プリセットのフォルダーを Finder / エクスプローラーで開きます。
`License...`	License パネルを開きます。
`About`	プラグインのバージョンを表示します。



図 5　Config メニュー

4.6　バージョンの確認

1. ヘッダー右端の歯車アイコンをクリックして、Config メニューを開きます。
2. About を選びます。
3. 製品名とバージョンが Version x.x.x の形式で表示されます。そのあとの括弧内はビルドコードです。

パネルは Close、Esc、またはパネルの外側のクリックで閉じます。最新バージョンと変更内容は noshigesound.com/changelog でご確認いただけます。

同じパネルの Visit Website ボタンで、noshigesound.com をブラウザーで開けます。

第 5 章

コントロール

5.1 フェイスプレート



図 6　フェイスプレート

1	**インプットゲイン**	赤いノブ。EQ の手前にある段階式のゲイン。
2	**HF**	グレーのノブ。12 kHz のハイシェルフ：ゲイン。
3	**MF**	二重ノブ。ミッドピーク：内側がゲイン、外側が周波数。
4	**LF**	二重ノブ。ローシェルフ：内側がゲイン、外側が周波数。
5	**HPF**	青いノブ。ハイパスフィルター：周波数。
6	EQL	EQ のオン・オフ。
7	PHASE	極性を反転します。

フェイスプレートには、名前の代わりに記号が印字されています。このマニュアルでは、グラフィック EQ ペインでの名前（HPF、LF、MF、HF）を使います。

3 つのゲインノブは、ポインターが真下（6 時の位置）のとき 0 dB です。時計回り（左側の + の方向）でブースト、反対（右側の − の方向）でカットになります。

ゲインの値は、パネルの目盛りに沿った目安です。グラフィック EQ ペインのカーブも参考に、耳で確認しながら調整してください。

インプットゲイン（赤いノブ）



範囲: OFF と、5 dB 刻みの 7 段　　初期値: +10 dB （ユニティゲイン）

EQ の手前にある段階式のゲインで、EQ に入るレベルを決めます。ポジションは 8 つで、OFF と、5 dB 刻みの 7 段のゲイン設定です。印字された目盛りのうち LINE 側のポジションにあたります。目盛りの MIC. 側は使用しません。

1 つのポジションに 3 種類の数字があり、それぞれ値が異なります。次の表を一度ご確認ください。

ノブと DAW に表示される値	パネルの印字と、フッターストリップの GAIN	実際に適用されるゲイン
OFF	OFF	無音
-10 dB	+10	−20 dB
-5 dB	+5	−15 dB
0 dB	0	−10 dB
+5 dB	−5	−5 dB
+10 dB （初期値）	−10	0 dB（ユニティゲイン）
+15 dB	−15	+5 dB
+20 dB	−20	+10 dB

パネルに印字されているのは実機のライン入力感度のため、符号が設定値と逆で、数字が小さいほどゲインは大きくなります。ノブ（Always Show Values がオンのとき）と DAW に表示されるのは、設定の名前です。実際に適用されるゲインはその値から 10 dB を引いたもので、初期値（ノブの表示は +10 dB ）がユニティゲインです。

上にドラッグすると、ほかのノブと同じく時計回りに回ります。このノブでは、時計回りがゲインを下げる方向で、最後のポジションが OFF です。

このゲインは EQ の手前にあるため、EQ が処理するレベルも変わります。Auto Gain がオンの場合は、レベルの変化が出力側で打ち消されます。オフの場合は、OUT TRIM で音量を戻してください。

> **重要**
> OFF の位置では、プラグインの出力は無音になります。EQL で EQ をオフにしていても同じです。信号が通るのは、ヘッダーバーの電源ボタン（プラグインのバイパス）を使った場合だけです。

HF：ハイシェルフ（グレーのノブ）



範囲: −16 … +16 dB（0.1 dB 刻み）、12 kHz 固定　初期値: 0 dB

12 kHz 固定のシェルフで、高域をブーストまたはカットします。ゲインは 0.1 dB 刻みの連続可変です。このバンドに OFF の位置はありません。高域を変えない場合は、ゲインを 0 dB にしてください。

MF：ミッドピーク（二重ノブ）



範囲: OFF 、0.36、0.7、1.6、3.2、4.8、7.2 kHz ／ −16 … +16 dB　初期値: OFF , 0 dB

ピーク（ベル）型のバンドです。外側のリングで周波数を選びます（0.36、0.7、1.6、3.2、4.8、7.2 kHz）。OFF にすると、このバンドはオフになります。内側のノブでゲインを 0.1 dB 刻みで設定します。

実機と同じく、バンドの幅はゲインに応じて変わります。幅を自分で決めたい場合は、グラフィック EQ ペインの DIGITAL Q をオンにしてください。

LF：ローシェルフ（二重ノブ）



範囲: OFF、35、60、110、220 Hz ／ −16 … +16 dB　初期値: OFF, 0 dB

ローシェルフのバンドです。外側のリングで周波数を選びます（35、60、110、220 Hz）。OFF にすると、このバンドはオフになります。内側のノブでゲインを 0.1 dB 刻みで設定します。

LF と MF は、グラフィック EQ ペインからバイパスすることもできます。その場合、周波数とゲインは保持されます。バイパス中は、フェイスプレートのリングが OFF の位置で表示されます。リングを回すとバイパスが解除され、OFF の位置から選び直すことになります。

HPF：ハイパスフィルター（青いノブ）



範囲: OFF、50、80、160、300 Hz　初期値: OFF

選んだ周波数（50、80、160、300 Hz）より下の低域を取り除きます。OFF ではフィルターはオフです。ゲインのコントロールはありません。グラフィック EQ ペインの HPF のポップアップには、スロープが 18 dB/oct と表示されます。

EQL



初期値: オン（押し込んだ状態）

EQ のオン・オフを切り替えます。押し込んだ状態がオンです。ボタンを戻すと、4 つの EQ セクションが信号経路から外れ、グラフィック EQ ペインのカーブが暗くなり、プロットの右上に EQ OUT と表示されます。切り替えは短いクロスフェードで行われ、レイテンシも変わらないため、トラックのタイミングはずれません。

EQL でオフになるのは EQ だけです。インプットゲイン、IN TRIM、OUT TRIM、PHASE、Auto Gain は有効なままです。何も処理していない入力を聴くには、ヘッダーバーの電源ボタンをお使いください。

PHASE



初期値: オフ（戻した状態）

出力の極性を反転します。TRIM / MIX ドロワーの丸い Ø ボタンも同じスイッチです。オンの間、フッターストリップの PHASE の横に Ø と表示されます。

5.2　ステレオトラック

ステレオトラックでは、左右のチャンネルが同じ設定の EQ を通ります。コントロールは 1 組で、リンクのスイッチや、左右別・ミッド／サイド別の設定はありません。noshige73 は、モノラル入出力またはステレオ入出力で動作します。

5.3　バイパス

noshige73 には処理をオフにするスイッチが 2 つあり、働きが異なります。どちらの場合も、信号はプラグインのレイテンシ分だけ遅延されたままなので、切り替えてもタイミングはずれません。

	電源ボタン（ヘッダーバー）	EQL
聴こえる音	入力そのまま。このボタンは、DAW 側のバイパスと双方向で連動します。	EQ なしの入力。ただしインプットゲイン、IN TRIM、OUT TRIM、PHASE、Auto Gain は有効です。
画面	ボタンが赤くなります（）。ヘッダーバーより下が暗くなって Bypassed と表示され、クリックに反応しません。	カーブが暗くなり、プロットに EQ OUT と表示されます。
プリセットへの保存	されません	されます

第 6 章

グラフィック EQ ペイン

フェイスプレートの右側のペインには、EQ の状態が表示され、マウスで直接設定できます。ここでの操作はフェイスプレートにも反映され、フェイスプレートでの操作もペインに反映されます。



図 7　グラフィック EQ ペイン

1	DIGITAL Q	LF、MF、HF に可変の Q を追加します。この図ではオフです。
2	SPECTRUM	スペクトラムのオン・オフ。この図ではオンで、文字の下に青い線が表示されています。
3	**左の軸**	EQ のゲイン（+20 ～ −20 dB）。
4	**右の軸**	スペクトラムのレベル（0 ～ −90 dBFS）。
5	**カーブ**	すべてのバンドを合わせたカーブ。バンドごとの細いカーブも、それぞれの色で描かれます。
6	**バンドポイント（オン）**	塗りつぶされた円：この図では MF。
7	**バンドポイント（オフ）**	輪郭だけの円：この図では OFF になっている HPF。
8	**スペクトラム**	入力がグレー、出力が青。
9	**フッターストリップ**	設定を文字で表示します。
10	**ドロワーのタブ**	TRIM / MIX ドロワーを開きます。

6.1 カーブ

1073 EQ - curve というタイトルの下のプロットは、横軸が 20 Hz から 20 kHz です。左の軸は EQ のゲインで、+20 から −20 dB まで 5 dB ごとに線が引かれています。オンになっているバンドごとに細いカーブがそれぞれの色で描かれ、明るいカーブがすべてのバンドの合計です。EQL で EQ をオフにしている間は、カーブが暗くなり、右上に EQ OUT と表示されます。

カーブが示すのは EQ の設定です。その後ろのスペクトラムが、実際の信号を示します。

6.2 ペインのヘッダー

SPECTRUM



初期値: オン

スペクトラムのオン・オフを切り替えます。オンの間は文字が明るくなり、下に青い線が表示されます。グレーの部分は入力で、インプットゲインと IN TRIM のあと、EQ の手前の信号です。明るい輪郭の付いた青い部分は、プラグインの出力です。右の軸はレベル（0 〜 −90 dBFS）を示します。

ステレオトラックでは、左右を合算した信号のスペクトラムが表示されます。

DIGITAL Q



初期値: オフ

DIGITAL Q がオフのとき、各バンドの幅は実機と同じです。幅はゲインに応じて変わり、Q のコントロールはありません。

DIGITAL Q をオンにすると、LF、MF、HF のそれぞれに、自分で設定できる Q が追加されます。Q は、バンドポイントの上でのマウスホイール、Alt + ドラッグ、またはバンドのポップアップで設定します。HPF に Q はありません。カーブは Q に合わせて変わり、フッターストリップには各バンドの Q が表示されます。
DIGITAL Q によってレイテンシが増えることはありません。

バンド	Q の範囲
LF と HF（シェルフ）	0.30 – 2.00
MF（ピーク）	0.20 – 8.00

あるインスタンスで初めて DIGITAL Q をオンにしたとき、3 つの Q には、その時点のゲインでの実機の幅に相当する値が設定されます。そのため、それまでのカーブの形を出発点として調整できます。以後は、DIGITAL Q をオフにしてからオンに戻しても、設定した Q が保持されます。バンドのポップアップの RESET で、バンドごとに実機と同じ幅へ戻せます。

6.3 バンドポイント

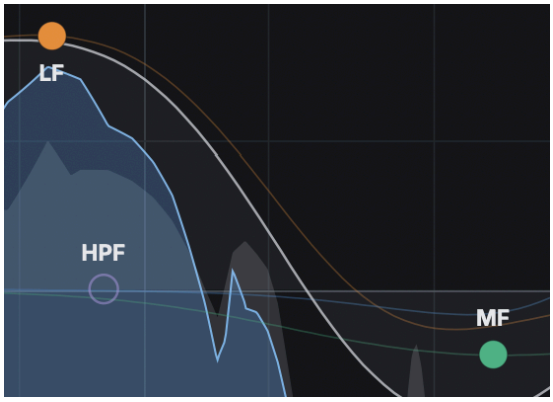


図 8　バンドポイント：LF と MF はオン、HPF はオフ

各バンドには名前の付いたポイントがあります：HPF（紫）、LF（オレンジ）、MF（緑）、HF（青）。塗りつぶされた円はオンのバンド、輪郭だけの円は OFF またはバイパス中のバンドで、最後に選んでいた周波数の位置に表示されます。ポイントをドラッグしている間は、選択できる周波数の目印が周波数軸に表示されます。

操作	HPF	LF / MF	HF
ドラッグ	左右で 50、80、160、300 Hz を切り替えます。50 Hz よりさらに左にドラッグすると OFF になります。	左右でそのバンドの周波数を切り替えます。上下でゲイン（−16 〜 +16 dB）を設定します。	上下でゲイン（−16 〜 +16 dB）を設定します。周波数は 12 kHz 固定です。
Ctrl / Cmd + クリック	OFF と、最後に選んでいた周波数を切り替えます。	バンドをバイパス、または元に戻します。周波数とゲインは保持されます。	ゲインを 0 dB にします。
ダブルクリック	—	ゲインを 0 dB にします。	ゲインを 0 dB にします。
輪郭だけのポイントをドラッグ	フィルターをオンに戻します。	バンドをオンに戻します。	—
ポイントの上でマウスホイール（DIGITAL Q オン時）	—	Q を変更します。ホイールを上に回すと、バンドの幅が広くなります。	同じです。
Alt + 上下にドラッグ（DIGITAL Q オン時）	—	Q を変更します。上にドラッグすると Q が上がり、バンドの幅が狭くなります。	同じです。

Mac では、Alt は Option キーです。ポイントの右クリックには機能がありません。

バンドのポップアップ

ポイントの上にマウスを置くと、その横に小さなポップアップが開きます。バンドの値が表示され、数値を直接入力できます。

行	内容
電源ボタンと名前	HPF：OFF と最後に選んでいた周波数を切り替えます。LF と MF：値を保持したままバンドをバイパスします。バンドがオンの間、ボタンはそのバンドの色で点灯します。HF には電源ボタンがありません。

行	内容
Freq	周波数（Hz）。1600 や 1.6k のように入力でき、そのバンドで選べる最も近い周波数に設定されます。HF は 12 kHz の固定表示です。
Gain	ゲイン（dB）。OFF のバンドにゲインを入力すると、バンドがオンになります。HPF は 18 dB/oct の固定表示です。
Q と RESET	DIGITAL Q がオンのときだけ表示されます（HPF を除く）。Q を入力するか、RESET をクリックして実機と同じ幅に戻します。

入力欄をクリックすると入力できます。Enter で確定、Esc で元の値に戻ります。入力欄の外をクリックした場合も確定されます。



図 9　バンドのポップアップ

6.4　TRIM / MIX ドロワー

ドロワーのタブ



初期値: 閉じた状態

フッターストリップの右端にある矢印のタブをクリックすると、プロットの右下に小さなドロワーが開きます。もう一度タブをクリックすると閉じます。閉じている間もドロワー内の設定は有効で、いずれかが初期値から変更されている場合は、タブに青い点が表示されます。ドロワーの開閉はインスタンスごとに記憶されます。

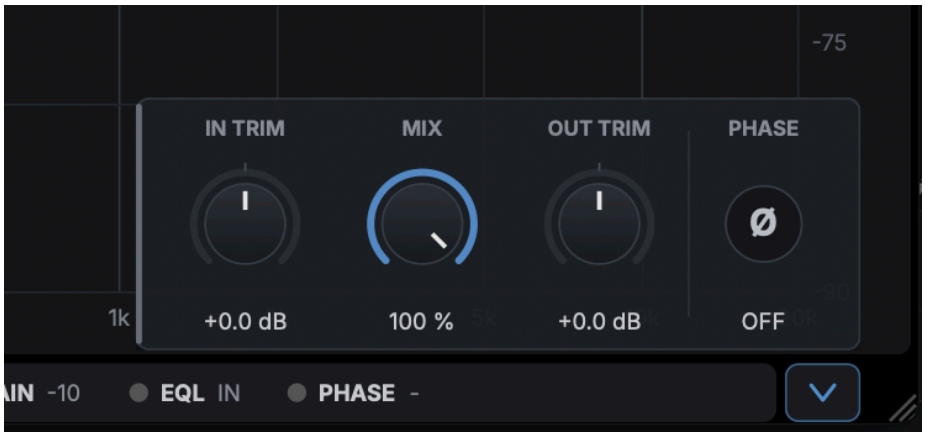


図 10　TRIM / MIX ドロワー

IN TRIM

範囲: −12 … +12 dB（0.1 dB 刻み）　　初期値: 0.0 dB

インプットゲインと同じ位置（EQ の手前）で働く、細かいレベル調整です。インプットゲインの 5 dB 刻みの間の量を調整するのにお使いください。

MIX

範囲: 0 … 100 %（1 % 刻み）　　初期値: 100 %

EQ を通っていない信号と、EQ を通った信号を混ぜます。100 % では EQ を通った信号だけになります。EQ を通っていない側にもインプットゲインと IN TRIM は適用されており、EQ のレイテンシに合わせて遅延されるため、位相がずれることはありません。

OUT TRIM

範囲: −12 … +12 dB（0.1 dB 刻み）　　初期値: 0.0 dB

出力レベルです。MIX と Auto Gain のあとに適用されます。Auto Gain による補正の対象にはならないため、最終的な音量はここで決められます。

Ø (PHASE)

範囲: OFF / INV　　初期値: OFF

極性を反転します。オンの間は INV と表示されます。フェイスプレートの PHASE と同じスイッチです。

6.5　フッターストリップ

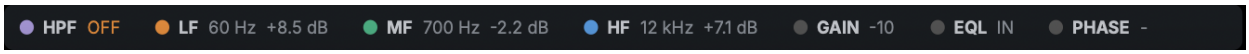


図 11　フッターストリップ

プロットの下のストリップには、設定が文字で表示されます。表示専用で、ここでは操作できません。

項目	表示内容
HPF	OFF、または周波数（例：80 Hz）。
LF, MF	周波数とゲイン（例：60 Hz +8.5 dB）。バンドがオフのときは OFF、バイパス中はオレンジ色の BYP。

項目	表示内容
HF	12 kHz とゲイン。
GAIN	インプットゲイン。パネルの印字と同じ値で表示されます（初期値では -10 ）。「インプットゲイン」の表をご覧ください。
EQL	IN または OUT 。
PHASE	通常は - 、反転時は Ø 。

DIGITAL Q がオンのときは、LF、MF、HF に Q が追加で表示されます（例：Q 0.70 ）。

第 7 章

ワイド表示とコンパクト表示

noshige73 には 2 つの表示があります。ワイド表示では、1 段のヘッダーバーの下に、フェイスプレートとグラフィック EQ ペインが並びます。コンパクト表示では、3 段のヘッダーバーの下に、フェイスプレートだけが縦長に表示されます。新しいインスタンスはワイド表示で開きます。

切り替えるには、ヘッダーバーの EQ 表示ボタン（小さなカーブのアイコン）をクリックします。ペインが表示されている間、アイコンは青くなります。表示の状態は、インスタンスごとに DAW のプロジェクトへ保存されます。



図 12　コンパクト表示

7.1　コンパクト表示のヘッダーバー

段	コントロール（左から）
1	保存（ディスクのアイコン）、プリセット欄、削除（ゴミ箱のアイコン）。
2	アンドゥ、リドゥ、A / B、COPY、値表示ボタン、電源ボタン、Config メニュー（歯車）。
3	LITE / PRO、AUTO（Auto Gain とその数値）、GPU または CPU、EQ 表示ボタン。

各コントロールの働きはワイド表示と同じですが、次の点が異なります。

- Auto Gain は `AUTO` と表示されます。
- `TRIAL` の表示はありません。PRO がライセンスなしで動作している間は、`PRO` の文字が琥珀色になり、ノイズが入っている間はオレンジ色に点滅します。
- License パネル、PRO カード、アクティベーション画面はワイド表示で開きます。コンパクト表示から開いた場合は、先にワイド表示へ切り替わります。

コンパクト表示では、グラフィック EQ ペインのコントロールは操作できませんが、設定はそのまま有効です（`DIGITAL Q` と Q の値、バンドのバイパス、`IN TRIM`、`MIX`、`OUT TRIM`）。

7.2　ウィンドウのサイズ

表示	100 % でのサイズ
ワイド	1058 × 857
コンパクト	200 × 897

どちらの表示も、右下隅のグリップで 50 % から 300 % の範囲でサイズを変更でき、サイズの設定は共通です。DAW が別の縦横比のウィンドウを指定した場合は、その中に画面全体が収まるように表示され、余白は黒で埋められます。

第 8 章

LITE と PRO

noshige73 には、同じインストールの中に LITE と PRO の 2 つのグレードがあります。機能は同じで、違いは音質のみです。

	LITE	PRO
音質	軽量なモデル。CPU 負荷も軽量です。	フルサイズのモデル。実機を最高の忠実度で再現します。
ライセンス	不要。無料で、アカウントも期限もありません。	有料のライセンス。アクティベートするまでは、ノイズの入るトライアルとして動作します。
コントロール、プリセット、DAW のプロジェクト、レイテンシ	同じ。	同じ。
新しいインスタンス	LITE で開きます。	このコンピューターで PRO をアクティベートしたあとは、PRO で開きます。

8.1 グレードの選択

グレードは、ヘッダーバーの `LITE / PRO`（コンパクト表示ではヘッダーバーの 3 段目）で選びます。有効な側の文字が明るく表示されます。グレードはインスタンスごとの設定です。DAW のプロジェクトには保存されますが、プリセットと A/B には含まれず、オートメーションもできません。

グレードを切り替えた直後は、一時的に、EQ を通らない信号がタイミングを保ったまま出力されます。そのあと、EQ のかかった音にフェードで戻ります。

8.2 PRO トライアル

このコンピューターで PRO をアクティベートするまで、PRO はトライアルとして動作します。トライアルに期限はなく、アカウントも必要ありません。フルサイズの PRO モデルそのものですが、1 点だけ違いがあります。およそ 30 秒おきに、10 秒間のノイズが出力に混ざります。LITE にノイズが入ることはありません。

1. `LITE / PRO` で `PRO` を選びます。`Unlock noshige73 PRO` というカードが開きます。
2. `Try PRO with noise` をクリックします。一度トライアルを始めたあとは、このボタンは `Continue trial` と表示されます。

PRO がトライアルとして動作している間は、次の 2 か所にその状態が表示されます。

- ヘッダーバーに琥珀色の `TRIAL` の表示が出ます。ノイズが入っている間は `NOISE` に変わり、オレンジ色に点滅します。コンパクト表示ではこの表示がなく、代わりに `PRO` の文字が琥珀色になり、オレンジ色に点滅します。
- ノイズが入っている間、グラフィック EQ ペインの上部（コンパクト表示ではフェイスプレートの上部）に、`PRO TRIAL - NOISE BURST (not a bug: buy a license to remove)` というバナーが表示されます。

重要
PRO トライアルのノイズは、音声そのものに含まれます。バウンスや書き出しにもノイズが記録されます。バウンスや書き出しの前に、PRO トライアルで動作しているインスタンスをすべて LITE に切り替えるか、PRO をアクティベートしてください。



図 13　ノイズが入っている間の PRO トライアル

8.3　PRO カード

Unlock noshige73 PRO のカードは、ライセンスのない状態で PRO を選んだとき、およびライセンスなしで PRO が動作しているインスタンスのウィンドウを開いたときに表示されます。TRIAL の表示、Config メニューの Get PRO...、License パネルの Get PRO からも開けます。カードには PRO の説明が表示され、次の選択肢があります。

ボタン	内容
Buy PRO	ストアの noshige73 のページをブラウザーで開きます。
I have a license	アクティベーション画面（Activate PRO）を開きます。「ライセンスとアクティベーション」の章をご覧ください。
Try PRO with noise / Continue trial	このインスタンスで PRO をトライアルとして動作させます。以後 24 時間は、カードが自動で開くことはありません。

ボタン	内容
Stay on LITE (free)	カードを閉じて、インスタンスを LITE に切り替えます。?、Esc、カードの外側のクリックで閉じた場合も同じです。

アクティベーション画面にも Buy a PRO license のリンクがあり、Buy PRO と同じストアのページが開きます。

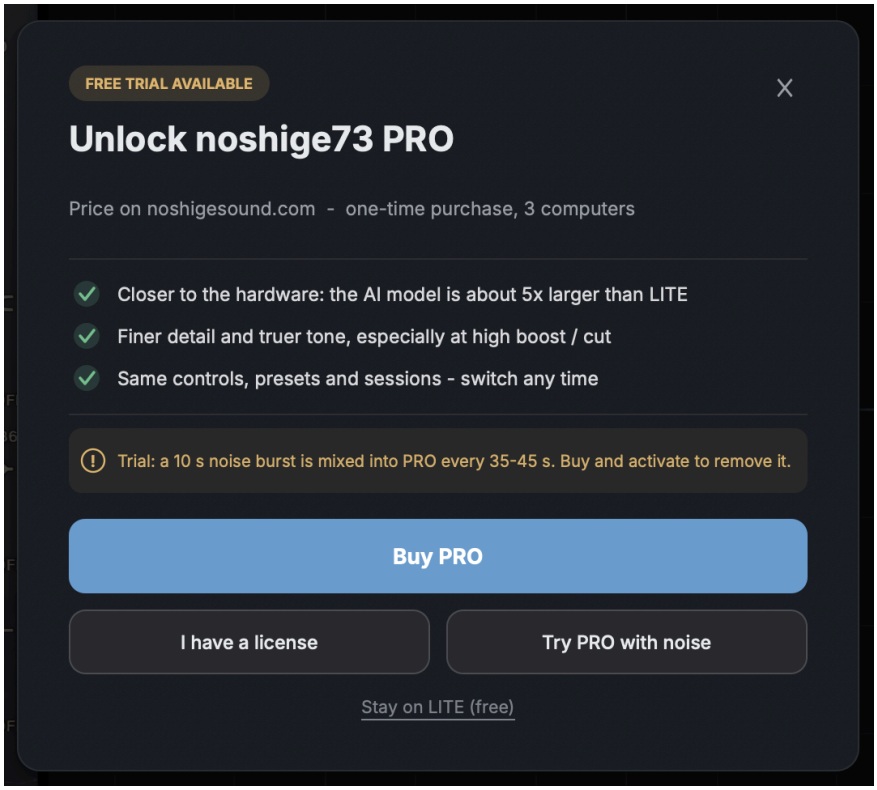


図 14　PRO カード

第 9 章

Auto Gain

EQ をかけると、音色だけでなく音量も変わります。インプットゲインを動かすと、さらに大きく変わります。そして、音量が大きいほうが良い音に聴こえがちです。Auto Gain は、プラグインを通ったあとのラウドネスが入力と同じになるよう、出力にメイクアップゲインを適用します。これにより、音色そのものを判断しやすくなります。

9.1 オンにする

次の 2 つの方法があり、どちらも同じ結果になります。

- ヘッダーバーの `AUTO GAIN`（コンパクト表示では `AUTO`）をクリックする。
- Config メニューの `Auto Gain` → サブメニューの `Auto Gain` を選ぶ。

新しいインスタンスでは Auto Gain はオフです。オンの間は文字が明るく表示され、その右側に、適用されているメイクアップゲインが dB（小数点以下 1 桁）で表示されます。値がプラスのときは、出力が上げられていることを示します。

9.2 3 つのモード

モードは Config メニューの `Auto Gain` から、またはヘッダーバーの `AUTO GAIN` を右クリックして選びます。新しいインスタンスは Snap です。

メニュー項目	数値の表示	動作
`Snap (measured once on enable)`	+1.2 ●	素材を 1 回だけ測定します。Auto Gain をオンにすると、まず推定値がすぐに適用され、続いて 2 秒間音を測定し（その間、点が点滅）、その補正値を保持します。以後、ゲインが変わるのはコントロールを動かしたときだけです。曲のどの位置でも、再生時もバウンス時も同じ値になります。初期設定のモードです。
`Track (follows the material)`	+1.2 dB	素材に追従します。入力と出力のラウドネスを常に比較し、両者がそろうようにゲインをゆっくり調整し続けます。
`Static (controls only)`	+1.2 S	コントロールの位置だけからゲインを決めます。測定は行わないため、ゲインが音に左右されることはありません。

Snap モードでは、同じメニューの `Snap again` でもう一度測定できます。測定中、この項目は `Snap again (capturing...)` と表示されます。この項目を選べるのは、Auto Gain がオンで、モードが Snap のときだけです。曲の音量が大きいセクションに移ったときなど、素材が変わったあとにお使いください。Auto Gain をオフにしてからオンにし直した場合も、測定し直します。Track から Snap に切り替えた場合は、Track がその時点で到達していた値を引き継ぎ、測定はやり直しません。

> メモ
> Snap の測定には音が必要です。何も再生していない状態で Auto Gain をオンにすると、2 秒分の音が流れるまで点が点滅し続けます。

9.3　適用されるゲイン

メイクアップゲインは 2 つの部分からなり、表示されるのはその合計です。

内訳	値
インプットゲインと IN TRIM	どのモードでも、全量が打ち消されます。インプットゲインが +20 dB（適用されるゲインは +10 dB）のとき、この部分は −10 dB です。0 dB（適用されるゲインは −10 dB）のときは +10 dB です。IN TRIM が +3 dB なら、さらに −3 dB が加わります。
EQ	バンドによるラウドネスの変化に対する補正です。ブーストすると出力が下がり、カットすると上がります。Static では、コントロールの位置だけから計算されます。Snap では、測定の結果、Static の値から最大 12 dB の範囲で異なる値になります。Track では、推定値から 6 dB 以内の範囲で素材に追従し、ゲインの変化は 1 秒あたり最大 6 dB です。

MIX が 100 % 未満のときは、EQ の分の補正がその割合に応じて小さくなります。OUT TRIM は Auto Gain のあとに適用され、表示される値には含まれません。

9.4　知っておきたいこと

- Auto Gain のオン・オフとモードは、インスタンスごとの設定です。DAW のプロジェクトには保存されますが、プリセットと A/B には含まれません。ファクトリープリセットを含め、プリセットを読み込んでも変わりません。
- オートメーションはできません。
- EQL で EQ をオフにしている間も Auto Gain は有効で、インプットゲインによる音量の変化を打ち消し続けます。電源ボタンでプラグインをバイパスしている間は、メイクアップゲインは 0 dB に戻ります。
- インプットゲインが OFF のときは、メイクアップゲインは直前の値のまま保持されます。
- プロジェクトを開き直したとき、Auto Gain は保存時のメイクアップゲインから動作を始めます。

第 10 章

処理エンジン：GPU と CPU

noshige73 は、一般的なプラグインよりはるかに多くの計算を必要とします。その負荷を CPU から逃がすために、グラフィックプロセッサー（GPU）で処理を行うことができます。2 つのエンジンの働きは同じで、違いは負荷がかかる場所とレイテンシです。

10.1　GPU 処理の要件

項目	要件
Mac	Apple Silicon（M1 以降）、macOS 11 以降。Intel Mac は常に CPU で動作します。
Windows	NVIDIA GeForce GTX 10 シリーズ ～ RTX 40 シリーズ、ドライバ 452.39 以降。それ以外のグラフィックス環境の PC は常に CPU で動作します。
サンプルレート	44.1 / 48 / 88.2 / 96 kHz
DAW のバッファーサイズ	44.1 / 48 kHz：256 サンプルの倍数（256、512、768、1024 … 最大 4096）。88.2 / 96 kHz：512 サンプルの倍数（512、1024、1536、2048 … 最大 4096）。
追加ソフトウェア	不要です。必要なのはグラフィックドライバーだけです。

これらをすべて満たす場合、新しいインスタンスは GPU を使います。それ以外の場合は自動的に CPU で動作します。設定の必要はありません。

10.2　レイテンシ

CPU エンジンのレイテンシは固定です。GPU エンジンでは、それに DAW のバッファー 2 つ分が加わるため、レイテンシはバッファーサイズによって変わります。

エンジンとバッファーサイズ	44.1 / 48 kHz（時間は 48 kHz の場合）	88.2 / 96 kHz（時間は 96 kHz の場合）
CPU（バッファーサイズによらず）	256 サンプル (5.3 ms)	512 サンプル (5.3 ms)
GPU, 256	768 サンプル (16 ms)	CPU で動作
GPU, 512	1280 サンプル (26.7 ms)	1536 サンプル (16 ms)
GPU, 1024	2304 サンプル (48 ms)	2560 サンプル (26.7 ms)
GPU, 2048	4352 サンプル (90.7 ms)	4608 サンプル (48 ms)

レイテンシはプラグインから DAW に通知され、再生時は DAW が自動的に補正します。エンジンを切り替えると、新しい値が通知されます。

> **ヒント**
> プラグインを通した音をモニターしながら録音・演奏する場合は、遅延がそのまま聞こえるため `CPU` を選んでください。DAW が遅延を補正するミックス作業では、`GPU` を使うと CPU の負荷を減らせます。

10.3　エンジンの選択

エンジン表示はヘッダーバーの `GPU` または `CPU` の文字です。使用中のエンジンを示しており、クリックすると `GPU` と `CPU` が切り替わります。Config メニューの `ENGINE` からも同じ切り替えができます。

表示	Config メニュー	意味
`GPU`（オレンジ）	`GPU` にチェック	GPU で動作中。クリックすると CPU に切り替わります。
`CPU`（水色）	`CPU` にチェック	CPU で動作中。クリックすると GPU に切り替わります。
`CPU`（暗色）	`GPU (unavailable: block size)`	バッファーサイズが要件を満たしていません。DAW で変更してください。
`CPU`（暗色）	`GPU (not available)`	このコンピューターには対応する GPU がありません。

10.4　Remember Engine

Config メニューの `Remember Engine` は、初期状態でオンです。オンの間は、ご自身で選んだエンジンがインスタンスごとに DAW のプロジェクトへ保存され、プロジェクトを開き直したときに再現されます。一度も選択していないインスタンスは自動のままで、要件を満たせば GPU、そうでなければ CPU になります。

`GPU` で保存したプロジェクトを、対応する GPU のないコンピューターで開いた場合は、CPU で動作します。`Remember Engine` のオン・オフはプロジェクトではなく、このコンピューターの設定です。

10.5　GPU の処理が間に合わない場合

GPU を使うインスタンスが多いと、処理が間に合わなくなることがあります。その場合は、レイテンシを変えずに CPU が処理を引き継ぐため、再生は途切れません。GPU には自動的に戻ります。頻繁に起こる場合は、一部のインスタンスを `CPU` に切り替えてください。

> **メモ**
> オフラインバウンスや書き出しは、どちらのエンジンでも行えます。

第 11 章

プリセット、A/B、アンドゥ

11.1 プリセット

プリセット一覧は 2 つの部分に分かれています。Factory の中のファクトリープリセットはプラグインに内蔵されており、変更できません。ご自身で保存したプリセットは、コンピューター上のファイルとして保存されます（「プリセットの保管場所」を参照）。前後のプリセットに移動するボタンはなく、プリセットは一覧から選びます。

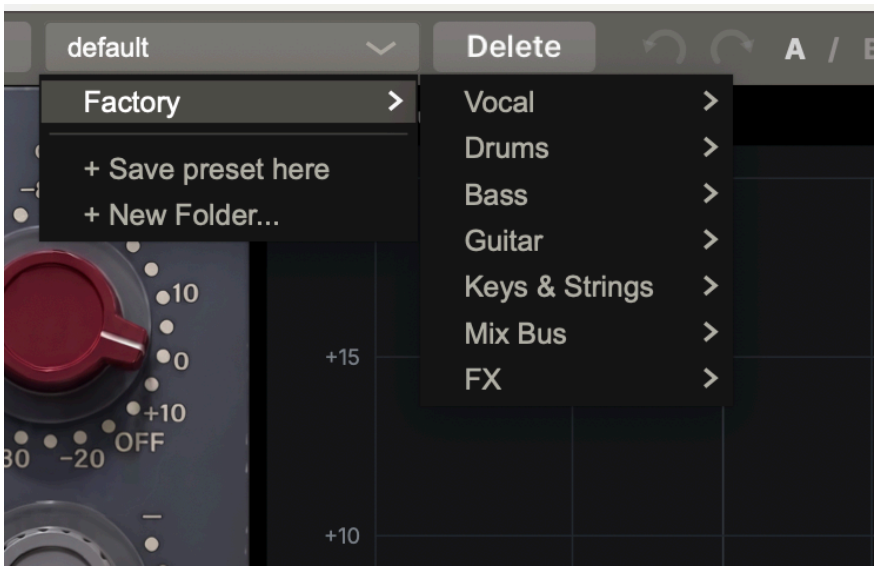


図 15　プリセット一覧

操作	手順
読み込む	プリセット欄の矢印をクリックし、プリセットを選びます。読み込み中のプリセットにはチェックが付きます。
新しく保存する	プリセット欄に名前を入力し、Save をクリックします。フォルダー名/プリセット名 と入力すると、そのフォルダーに保存されます。
上書きする	同じ名前で保存し、確認画面で OK を選びます。
変更したファクトリープリセットを残す	Save をクリックします。設定はご自身の新しいプリセットとして保存され、ファクトリープリセットは元のまま残ります。
保存先フォルダーを選ぶ	プリセット一覧で、保存したいフォルダーの + Save preset here を選びます。次の保存先がそのフォルダーになります。
フォルダーを作る	プリセット一覧の一番下の + New Folder... を選び、New Folder のダイアログに名前を入力します。次の保存先は、新しいフォルダーになります。
名前を変える	一覧で、ご自身のプリセットを右クリックし（Mac は Ctrl + クリック）、Rename Preset のダイアログに新しい名前を入力します。プリセットは同じフォルダーに残ります。
削除する	ご自身のプリセットを読み込んだ状態で Delete をクリックし、確認画面で OK を選びます。

操作	手順
フォルダーの名前変更・移動・削除	Finder またはエクスプローラーで行います。Config メニューの Open Presets Directory でフォルダーを開けます。

名前の後ろのアスタリスク（Name*）は、読み込みまたは保存のあとで設定が変更されていることを示します。ファクトリープリセットは、名前の変更、削除、上書きができません。

プリセットに含まれるもの

プリセットに保存される	プリセットに保存されない
インプットゲイン、HPF、LF と MF（周波数、ゲイン、バイパス）、HF、EQL、PHASE、IN TRIM、OUT TRIM、MIX、DIGITAL Q と 3 つの Q の値	バイパス（電源ボタン）、LITE / PRO、Auto Gain とそのモード、エンジン（GPU / CPU）、ウィンドウサイズと表示（ワイド / コンパクト）、スペクトラムのオン・オフ、ドロワーの開閉、A/B

右の列の項目は、プリセットではなく DAW のプロジェクトに保存されます。Always Show Values と Remember Engine は、このコンピューターの設定として保存されます。

メッセージ

メッセージ	意味
Please insert the preset name!	プリセット欄が空のまま Save をクリックしました。先に名前を入力してください。
Are you sure you want to overwrite it?	同じ名前のプリセットがあります。OK で上書き、Cancel で取り消します。
Preset Saved	表示された名前でプリセットが保存されました。
Please select the preset!	プリセットを読み込んでいない状態で Delete をクリックしました。
Factory presets cannot be deleted.	読み込み中のプリセットはファクトリープリセットです。
Are you sure you want to delete it?	OK でプリセットのファイルを削除、Cancel で取り消します。
Preset Deleted	プリセットのファイルが削除されました。
A preset with that name already exists.	名前の変更時に表示されます。別の名前を指定してください。
Preset saving process failed. / Preset deleting process failed. / Preset rename failed.	プリセットのファイルを保存、削除、または名前変更できませんでした。
Next Save goes into: …	次の保存先フォルダーの確認です。+ New Folder… のあとは Folder created. The next Save goes here. と表示されます。

11.2　プリセットの保管場所

macOS	Windows
`~/Documents/noshigeSound/noshige73/Presets`	`Documents\noshigeSound\noshige73\Presets`

プリセットは 1 つにつき 1 ファイルで、拡張子は `.preset` です。`Presets` 内のフォルダーは、プリセット一覧でサブメニューとして表示されます。Config メニューの Open Presets Directory を選ぶと、このフォルダーが Finder / エクスプローラーで開きます。

> **ヒント**
> プリセットのバックアップや別のコンピューターへの移動は、`Presets` フォルダーをコピーするだけです。プラグインをアップデートまたはアンインストールしても、このフォルダーは削除されません。

11.3　ファクトリープリセット

noshige73 には、7 つのフォルダーに分かれた 62 種類のファクトリープリセットが付属しています。以下の表は、それぞれの設定の一覧です。すべてのファクトリープリセットで、`EQL` はオン、`MIX` は 100 %、`IN TRIM` は 0 dB、`DIGITAL Q` はオフで、バイパスされているバンドはありません。

列	意味
IN	インプットゲイン（ノブに表示される値）。`+10 dB` が初期値（ユニティゲイン）で、`+15 dB` と `+20 dB` では、EQ に入るレベルがそれぞれ 5 dB、10 dB 高くなります。
HPF	ハイパスフィルターの周波数。
LF, MF	周波数とゲイン（dB）。
HF	12 kHz シェルフのゲイン（dB）。
OUT	`OUT TRIM`（dB）。空欄は 0 dB です。
Ø	`PHASE` がオン（極性反転）。

インプットゲインを上げているプリセットの多くは、上がった分の一部または全部を `OUT TRIM` で下げています。ファクトリープリセットによって Auto Gain のオン・オフが変わることはありません。

Vocal

プリセット	IN	HPF	LF	MF	HF	OUT	Ø
Lead Vocal	+10 dB	50 Hz	110 Hz +2.5	3.2 kHz +2.0	+2.5		
Male Vocal	+10 dB	OFF	110 Hz +5.0	3.2 kHz −5.0	+7.5		
Female Vocal	+10 dB	OFF	220 Hz +3.0	4.8 kHz −5.0	+9.0		
Airy Vocal	+10 dB	50 Hz	220 Hz +3.0	7.2 kHz +3.5	+3.0		
Vocal Clarity	+10 dB	80 Hz	220 Hz −5.0	1.6 kHz −10.0	+3.0		
Telephone Vocal	+10 dB	300 Hz	60 Hz −5.0	1.6 kHz +7.0	+2.0		
Vocal Mid Push	+10 dB	160 Hz	220 Hz −10.0	1.6 kHz +9.0	−9.0		
Background Vocal	+10 dB	160 Hz	220 Hz −4.0	360 Hz −3.5	+6.0		
Driven Lead Vocal	+20 dB	80 Hz	110 Hz +1.5	4.8 kHz +2.0	+3.0	−10.0	

Drums

プリセット	IN	HPF	LF	MF	HF	OUT	Ø
Kick Punch	+10 dB	OFF	60 Hz +5.0	360 Hz −8.5	+6.0		
Sub Kick	+10 dB	OFF	35 Hz +8.0	3.2 kHz +5.0	−16.0		
Jazz Kick	+10 dB	OFF	60 Hz +6.0	1.6 kHz +7.5	+3.0		
Soft Kick	+10 dB	50 Hz	110 Hz +4.5	1.6 kHz −7.0	−2.5		
808 Kick	+10 dB	160 Hz	35 Hz +4.5	700 Hz −4.0	−3.5		

プリセット	IN	HPF	LF	MF	HF	OUT	Ø
Snare Top	+10 dB	50 Hz	110 Hz +5.0	1.6 kHz +5.5	+6.0		
Snare Bright	+10 dB	OFF	110 Hz +5.0	4.8 kHz +10.0	+5.0		
Snare Bottom	+10 dB	160 Hz	220 Hz −8.0	4.8 kHz +5.5	+16.0		Ø
70s Snare	+20 dB	160 Hz	220 Hz −0.5	4.8 kHz −5.0	+7.0	−8.0	
Hi Hat Sharp	+10 dB	300 Hz	220 Hz −9.0	7.2 kHz −4.0	+11.0		
Overheads	+10 dB	50 Hz	110 Hz +3.0	1.6 kHz −4.0	+8.5		
Floor Tom	+10 dB	OFF	60 Hz +6.0	4.8 kHz +7.5	+2.0		
Rack Tom	+10 dB	OFF	110 Hz +5.0	3.2 kHz +7.5	+1.5		
Room Mics	+10 dB	50 Hz	60 Hz +5.0	1.6 kHz +7.0	−6.0		
Drum Bus	+10 dB	OFF	60 Hz +6.0	4.8 kHz +3.0	+4.0		

Bass

プリセット	IN	HPF	LF	MF	HF	OUT	Ø
Bass DI	+15 dB	OFF	110 Hz +6.0	700 Hz +6.5	+1.5	−3.0	
Bass Amp	+10 dB	OFF	60 Hz +7.0	360 Hz −4.0	+8.0		Ø
Pick Bass	+10 dB	OFF	OFF	3.2 kHz +9.0	+5.0		
Bass De-Mud	+20 dB	160 Hz	220 Hz −15.0	1.6 kHz −10.0	−8.0		
70s Bass	+15 dB	80 Hz	110 Hz +3.0	360 Hz +10.5	0.0	−3.0	
Aggressive Bass	+15 dB	50 Hz	OFF	700 Hz +11.5	+5.5	−4.5	
Slap Bass	+10 dB	OFF	60 Hz +5.0	360 Hz −6.5	0.0		
Synth Bass Thick	+15 dB	50 Hz	60 Hz +2.0	1.6 kHz +3.0	−5.5	−3.5	
Synth Bass Bite	+10 dB	OFF	60 Hz +6.0	700 Hz −5.0	+6.5		

Guitar

プリセット	IN	HPF	LF	MF	HF	OUT	Ø
Acoustic Guitar	+10 dB	50 Hz	110 Hz +1.0	7.2 kHz +2.0	+2.0		
Acoustic Guitar Tight	+20 dB	50 Hz	35 Hz −4.5	360 Hz −4.5	+7.5	−6.0	
Acoustic Guitar De-Boom	+20 dB	80 Hz	110 Hz −7.0	700 Hz −16.0	+2.0	−3.0	
Crunch Guitar	+10 dB	OFF	110 Hz −3.0	4.8 kHz +8.0	+2.0		
Clean Guitar	+20 dB	80 Hz	60 Hz −3.5	700 Hz −12.5	+10.0	−6.0	
Rock Guitar	+10 dB	80 Hz	110 Hz +6.0	1.6 kHz +9.5	0.0	−4.0	
Rhythm Guitar	+15 dB	160 Hz	220 Hz +1.5	1.6 kHz +6.5	+4.0	−4.5	
Driven Guitar	+20 dB	160 Hz	OFF	3.2 kHz +10.0	−7.5	−10.0	
DI Guitar	+10 dB	OFF	220 Hz −7.0	3.2 kHz −4.0	+7.0		

Keys & Strings

プリセット	IN	HPF	LF	MF	HF	OUT	Ø
Piano	+10 dB	OFF	110 Hz +1.0	360 Hz −5.5	+2.0		
Bright Piano	+10 dB	OFF	60 Hz +3.5	700 Hz −2.5	+8.5		
Rhodes	+20 dB	80 Hz	110 Hz −2.5	700 Hz +2.5	+4.5	−7.0	
Synth Lead	+20 dB	80 Hz	220 Hz −5.5	3.2 kHz +7.0	+3.0	−7.0	
Aggressive Synth	+10 dB	50 Hz	60 Hz +7.5	1.6 kHz +9.0	+4.0	−2.0	
Harpsichord	+15 dB	80 Hz	220 Hz −1.0	3.2 kHz +8.5	0.0	−2.5	
Strings	+15 dB	160 Hz	110 Hz +3.5	1.6 kHz +3.5	+3.0	−3.5	

Mix Bus

プリセット	IN	HPF	LF	MF	HF	OUT	Ø
Mix Smile	+10 dB	OFF	220 Hz +4.0	360 Hz −3.0	+5.5		
Mix Air	+10 dB	OFF	OFF	OFF	+2.5		
Mix Low End	+10 dB	OFF	110 Hz +3.0	700 Hz +2.0	0.0		
Mix Polish	+10 dB	OFF	60 Hz +2.0	4.8 kHz +2.0	+3.0		
Mix Warm	+10 dB	OFF	60 Hz +5.0	360 Hz +3.5	+4.0		
Mix Subtle	+10 dB	OFF	110 Hz +3.0	700 Hz −2.5	+1.5		

FX

プリセット	IN	HPF	LF	MF	HF	OUT	Ø
Radio	+10 dB	300 Hz	60 Hz −16.0	360 Hz +11.5	−16.0		
Treble Only	+10 dB	300 Hz	60 Hz +1.0	360 Hz −16.0	+10.5		
Sub Only	+10 dB	OFF	35 Hz +16.0	360 Hz −12.5	−16.0		
No Mid	+10 dB	OFF	60 Hz −1.5	360 Hz −16.0	+2.5		
No Low End	+10 dB	300 Hz	60 Hz −16.0	360 Hz +11.5	−3.0		
Broken Speaker	+20 dB	160 Hz	OFF	1.6 kHz −16.0	+3.0	−10.0	
Thin Bass	+10 dB	300 Hz	60 Hz +4.0	360 Hz −15.0	−7.0		

11.4　A/B 比較

A / B は、設定を 2 組保持します。クリックするたびに切り替わり、有効な側の文字が明るく表示されます。使い始めるまでは、2 組とも同じ内容です。COPY は、いま聴いている設定をもう一方にコピーします。コピーしてから切り替え、一部を変更して、行き来しながら聴き比べるのが基本的な使い方です。

1 組の設定に含まれる内容は、プリセットと同じです。バイパス、LITE / PRO、Auto Gain は含まれず、切り替えても変わりません。2 組の設定はどちらも DAW のプロジェクトに保存されます。

11.5　アンドゥとリドゥ

ヘッダーバーの 2 つの矢印ボタンで、プラグイン上で行った操作（ノブやボタンの操作、グラフィック EQ ペインでの操作、A/B の切り替え、LITE / PRO の切り替え）を取り消したり、やり直したりできます。プラグインのウィンドウが選択されている場合は、`Ctrl`/`Cmd` + `Z` でアンドゥ、`Ctrl`/`Cmd` + `Shift` + `Z` または `Ctrl`/`Cmd` + `Y` でリドゥができます（DAW 側がそのキーを使う場合を除く）。プリセットまたは DAW のプロジェクトを読み込むと、アンドゥの履歴は消去されます。

第 12 章

ライセンスとアクティベーション

まず、要点は次のとおりです。

確認したいこと	答え
ライセンスなしで使えますか	はい、LITE は使えます。ライセンスもアカウントもアクティベーションも不要で、期限もありません。
ライセンスが必要なのは	PRO だけです。ライセンスはプラグインの中でアクティベートします。
14 日間のトライアルはありますか	いいえ。noshige73 に期限付きのトライアルはありません。その代わり、PRO は期限なく試すことができます。アクティベートするまでの PRO には、およそ 30 秒おきにノイズが入ります。
アクティベートすると何が変わりますか	PRO のノイズが入らなくなります。LITE はアクティベートの前後で変わりません。
PRO のアクティベートに必要なものは	noshigesound.com アカウントのメールアドレスとパスワード、そしてライセンスキーです。3 つともプラグインの画面に入力します。
インターネットなしでアクティベートできますか	はい。永久ライセンスであれば、オンラインの機器との間でファイルをやり取りしてアクティベートできます。
何台で使えますか	1 ライセンスにつき、同時に最大 3 台です。

noshige73 には、1 つのインストールの中に 2 つのグレードがあります。LITE は無料です。アカウントもライセンスキーもアクティベーションも不要で、期限もありません。PRO は有料のフルサイズモデルで、noshige73 の中でライセンスが必要なのは PRO だけです。

PRO は、そのコンピューターでアクティベートするまで、期限のないトライアルとして動作します。フルサイズの PRO モデルそのものに、およそ 30 秒おきに 10 秒間のノイズが混ざります。ライセンスをアクティベートすると、ノイズは入らなくなります。トライアルの詳細は「LITE と PRO」の章をご覧ください。この章ではライセンスについて説明します。

12.1 オンラインでアクティベートする

必要なものは、noshigesound.com アカウントのメールアドレスとパスワード、そしてライセンスキーの 3 つです。ライセンスキーは noshigesound.com/account/licenses のライセンスページと、ライセンス発行時にお送りしたメールに記載されています。noshige73 のキーは `NSG73-` で始まります。

1. ヘッダーバーの `LITE / PRO` で `PRO` を選びます。`Unlock noshige73 PRO` というカードが開きますので、`I have a license` をクリックします。`Activate PRO` というタイトルのアクティベーション画面が開きます。先にトライアルを選んでいてカードが開かない場合は、ヘッダーバーの `TRIAL` の表示をクリックするか、Config メニューの `Get PRO...` を選んでください。
2. メールアドレス、パスワード、ライセンスキーを入力します。3 つとも同じ画面に入力します（下の表を参照）。
3. `Activate` をクリックします。このとき、コンピューターがインターネットに接続されている必要があります。
4. `Activation Complete!` と表示され、このライセンスを使用中の台数が示されます。

以後、このコンピューター上のすべての noshige73 で、PRO がノイズなしで動作します。新しいインスタンスは PRO で開くようになります。LITE はもともと制限がなく、そのまま使えます。

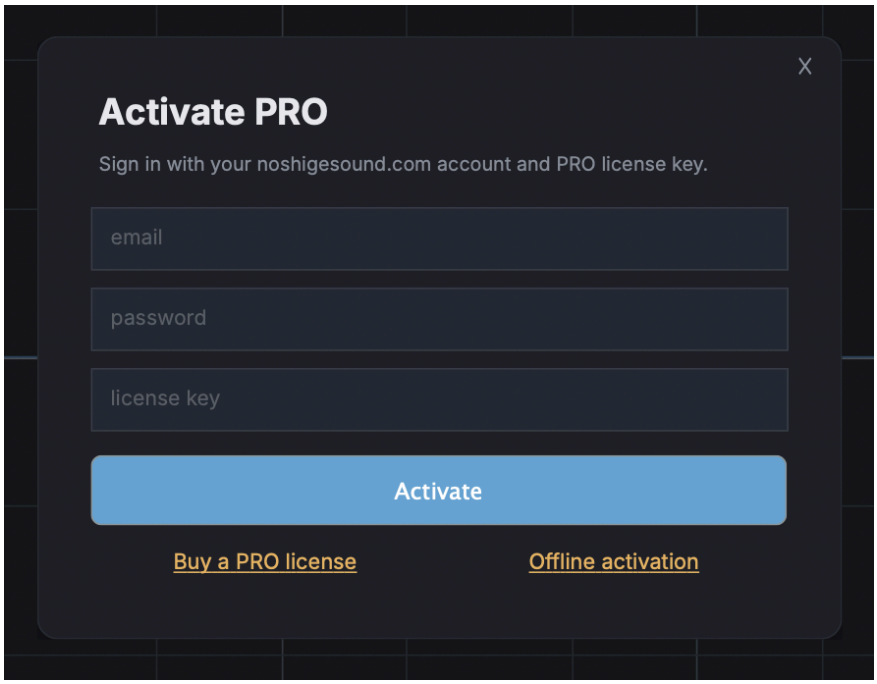


図 16　アクティベーション画面

アクティベーション画面の項目	内容
email	noshigesound.com アカウントのメールアドレス。
password	そのアカウントのパスワード。入力した文字は伏せ字で表示されます。
license key	`NSG73-` で始まるライセンスキー。貼り付けできます。
Activate	3 つの入力内容を送信し、このコンピューターをアクティベートします。`Enter` でも実行できます。
Buy a PRO license	ブラウザーで noshigesound.com を開きます。
Offline activation	インターネットに接続できないコンピューター用の画面を開きます（次の節）。

> **メモ**
> ウェブサイトで 2 段階認証をお使いの場合も、プラグインでの手順は変わりません。プラグインが求めるのはメールアドレス、パスワード、ライセンスキーだけで、認証コードは求められません。

アクティベーションに失敗したとき

メッセージ	対処
Email or password is incorrect.	noshigesound.com アカウントのメールアドレスとパスワードをご確認ください。パスワードはサインインページから再設定できます。
The license key is invalid.	別の製品のキーが入力されています。noshige73 のキーは `NSG73-` で始まります。

メッセージ	対処
License key not found. Please check and try again.	ライセンスページからキーをコピーし直してください。
This license is registered to another account. …	ライセンスを所有しているアカウントでサインインしてください。
Maximum activation count reached for this license. …	3 台すべてが使用中です。ライセンスページで 1 台を解除してください（「コンピューターの管理」参照）。
Couldn't connect to noshigesound.com…	インターネット接続とファイアウォールを確認し、もう一度お試しください。インターネットに接続できないコンピューターでは、オフラインアクティベーションをご利用ください。

12.2　オフラインのコンピューターをアクティベートする

インターネットに接続しないコンピューターは、オンラインの機器との間で 2 つの小さなファイルをやり取りすることでアクティベートできます。対象は永久ライセンスのみです。サブスクリプションはオンラインでアクティベートしてください。 プラグイン側の画面は 3 つのステップに分かれています。アクティベーション画面の Offline activation をクリックして開きます。

ステップ 1 / 3：リクエストファイルを保存する（オフラインのコンピューター）

画面の項目	操作
license key	ライセンスキーを入力します。
device name	ライセンスの一覧に表示される、このコンピューターの名前です。コンピューター名が入力済みですが、変更もできます。
Machine ID ・ Copy	このコンピューターの ID です。ファイルをオンラインの機器へ持ち出せない場合にのみ使います（下のメモを参照）。
Save request file…	リクエストファイルを保存します。拡張子は `.nsreq` で、保存先の初期位置はデスクトップです。
I already have a license file	ステップ 3 に進みます。

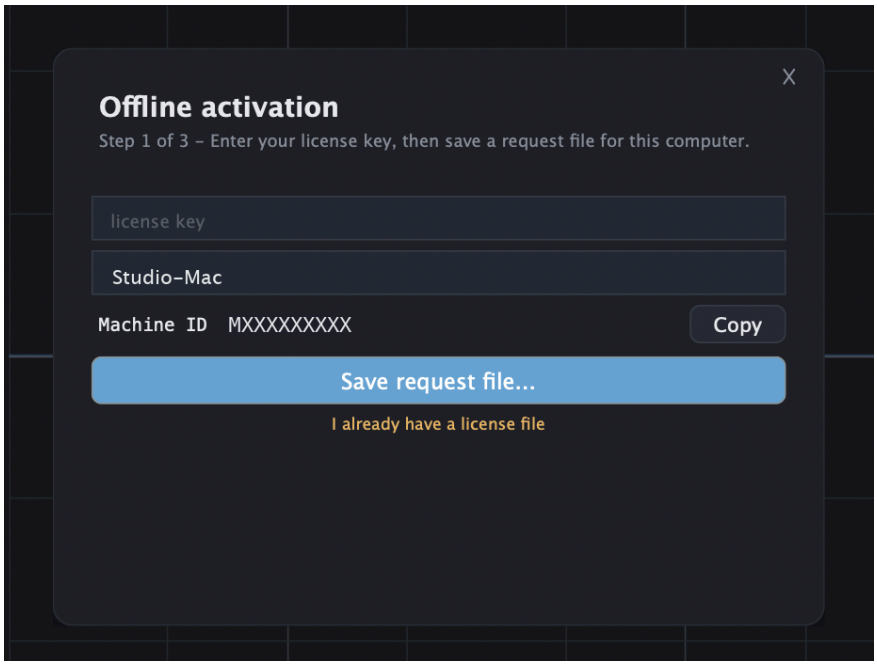


図 17　オフラインアクティベーション（ステップ 1）

ステップ 2 / 3：ライセンスファイルを受け取る（オンラインの機器）

1. `.nsreq` ファイルを、オンラインのコンピューター、タブレット、またはスマートフォンに移します。
2. noshigesound.com/account/activate-offline にサインインします。このアドレスはパネルにも表示されており、`Copy link` と `Open in browser` が使えます。
3. リクエストファイルをアップロードして `Continue` をクリックします。コンピューター名と Machine ID がプラグインの表示と同じであることを確認し、`Generate license file` をクリックします。
4. 拡張子 `.nslic` のファイルがダウンロードされます。これをオフラインのコンピューターに戻します。
5. プラグインで `Next: load the license file` をクリックします。

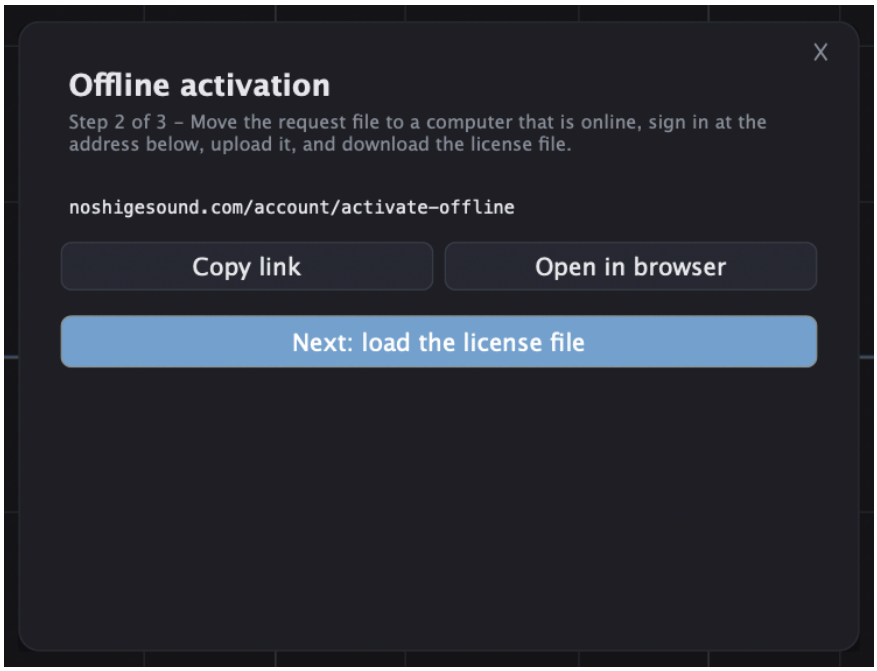


図 18　オフラインアクティベーション（ステップ 2）

ステップ 3 / 3：ライセンスファイルを読み込む（オフラインのコンピューター）

画面の項目	操作
license key	ステップ 1 と同じライセンスキーを入力します。
Drop the license file (.nslic) here	`.nslic` ファイルをここにドラッグします。
Choose file...	ファイル選択のダイアログから選ぶこともできます。
Back	前のステップに戻ります。

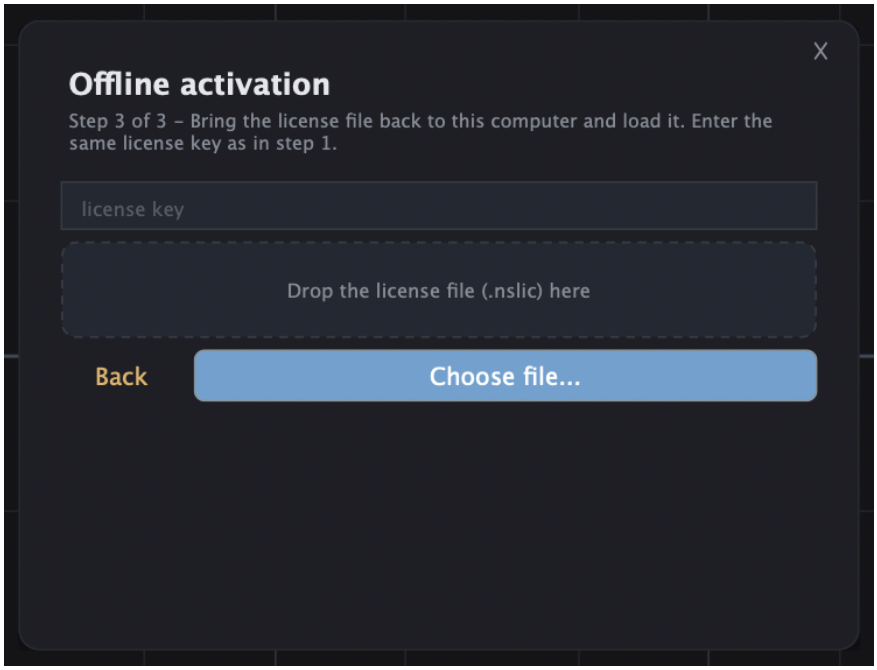


図 19　オフラインアクティベーション（ステップ 3）

Activation Complete! と表示されれば完了です。以後、インターネット接続は必要ありません。

> **メモ**
> ライセンスファイルは、リクエストを作成したコンピューターでのみ有効です。同じリクエストをもう一度アップロードした場合は、台数を追加で消費せずにファイルが再発行されます。オフラインのコンピューターからファイルを持ち出せない場合は、ステップ 1 に表示される Machine ID をウェブサイトに手入力する方法もあります。

オフラインアクティベーションには noshige73 1.2.0 以降が必要です。

12.3　コンピューターの管理

1 つのライセンスは、同時に最大 3 台のコンピューターで使えます。台数の管理はウェブサイトで行います。プラグイン側に解除ボタンはありません。

1. サインインして noshigesound.com/account/licenses を開き、対象のライセンスを選びます。
2. `Activations` の一覧で、使わなくなったコンピューターの `Deactivate` をクリックします。
3. 新しいコンピューターを、上の手順でアクティベートします。

解除は、そのコンピューターのプラグインが次にオンラインになったときに反映されます。ウェブサイトの案内のとおり、永久ライセンスでは最長 30 日、サブスクリプションでは最長 7 日かかることがあります。それ以降、そのコンピューターの PRO は、再度アクティベートするまで、ノイズの入るトライアルに戻ります。LITE には影響しません。アカウントページは、プラグインの License パネルにある `Manage License` からも開けます。

12.4　アクティベーション後について

永久ライセンスは、インターネットに接続していなくても使い続けられます。コンピューターがオンラインのときは、プラグインが noshigesound.com にライセンスの確認を自動で行うことがあります。音声やプロジェクトのデータが送信されることはありません。

サブスクリプションは定期的にオンラインでの確認が必要なため、ときどきインターネットに接続してください。`Online Verification Required` と表示された場合は、インターネットに接続して `Verify now` をクリックします。`Confirm Your Identity` と表示された場合は、アカウントのパスワードを入力します。いずれも通常の確認です。

12.5　License パネル

このコンピューターのライセンスの状態は、License パネルで確認できます（開き方：Config メニュー → `License...`）。

項目	表示内容
Status	`LITE (free)`、`PRO trial`、`PRO activated`、`PRO activated (offline)`、`Subscription expired` のいずれか。
Plan	PRO を使ったことがない間は `Free - LITE model`、PRO がトライアルで動作している間は無料トライアルである旨の表示、PRO のアクティベート後は `PRO - Perpetual License`、`PRO - Monthly Subscription`、`PRO - Yearly Subscription` のいずれか。
Account	アクティベートに使ったメールアドレス（オンラインの場合のみ）。
License key	ライセンスキーの全文。
Expiry	永久ライセンスは `Never Expire`。それ以外は該当する日付。

> **重要**
> License パネルにはライセンスキーの全文が表示されます。スクリーンショットや画面収録を共有するときは、キーが写らないようにご注意ください。

PRO をアクティベートするまで、License パネルには PRO カードを開く `Get PRO` ボタンが表示され、`Plan` より下の項目は表示されません。アクティベート後は、購入日（`Purchased on`）も表示され、ボタンは `Manage License` に変わります。このボタンで、noshigesound.com のアカウントページをブラウザーで開けます。

第 13 章

トラブルシューティング

症状	原因と対処
およそ 30 秒おきにノイズが入り、PRO TRIAL - NOISE BURST のバナーが表示される	PRO がライセンスなしで動作しています。インスタンスを LITE に切り替えるか、PRO をアクティベートしてください（「ライセンスとアクティベーション」の章を参照）。ノイズはバウンスにも記録されます。
音がまったく出ない	インプットゲイン（赤いノブ）が OFF になっています。ノブを回すか、右クリックで初期値に戻してください。
画面が暗くなり Bypassed と表示される	バイパス中です。ヘッダーバーの電源ボタンをクリックするか、DAW 側のバイパスを解除してください。
EQ が効かず、プロットに EQ OUT と表示される	EQL がオフです。フェイスプレートの EQL を押してください。
特定のバンドが効かず、ポイントが輪郭だけの円になっている	そのバンドが OFF、またはバイパス中（フッターストリップに BYP）です。ポイントをドラッグするか、フェイスプレートのリングを回してください。
ノブに値が表示されない	Config メニューの Always Show Values をオンにするか、ヘッダーバーの値表示ボタンをクリックしてください。
インプットゲインを回すと音量が大きく変わる	正常な動作です。インプットゲインは音量を変えます。AUTO GAIN をオンにするか、OUT TRIM で音量を調整してください。
ウィンドウが細長い表示で開く	コンパクト表示になっています。ヘッダーバー 3 段目の EQ 表示ボタン（小さなカーブのアイコン）をクリックしてください。
ウィンドウが大きすぎる、または小さすぎる	右下隅のグリップをドラッグしてください。グリップを Shift + クリックすると 100 % に戻ります。
ヘッダーバーの CPU が暗色で、クリックできない	現在の設定では GPU を使えません。DAW のバッファーサイズを、44.1 / 48 kHz では 256 サンプルの倍数、88.2 / 96 kHz では 512 サンプルの倍数にしてください。Intel Mac、または対応する NVIDIA 製 GPU のない Windows PC では、常に CPU で動作します。バッファーサイズがすでに要件を満たしている場合は、バッファーサイズやレイテンシが繰り返し変化したために、プラグインがこのインスタンスを CPU に固定しています。DAW でバッファーサイズを変更すると、GPU の使用をもう一度試みます。
再生中に GPU から CPU に変わる	GPU の処理が間に合っていません。多くの場合、インスタンス数が多いことが原因です。処理は CPU で継続され、GPU には自動で戻ります。頻繁に起こる場合は、GPU を使うインスタンスを減らすか、バッファーサイズを大きくしてください。
GPU と CPU が繰り返し切り替わる	レイテンシが変わるたびにプラグインを再初期化するホストがあります。そのインスタンスでは CPU を選んでください。
エンジンが変わるとレイテンシが変わる	正常な動作です。GPU エンジンでは、DAW のバッファー 2 つ分のレイテンシが加わります。DAW が自動的に補正します。
CPU 負荷が高い	noshige73 は、一般的な EQ より多くの計算を必要とします。GPU エンジンが使える環境では GPU をお使いください。CPU 負荷の軽い LITE を使う方法もあります。作業の済んだトラックはフリーズやバウンスをすると負荷を減らせます。

症状	原因と対処
音が処理されない	プロジェクトのサンプルレートをご確認ください。noshige73 が対応しているのは 44.1 / 48 / 88.2 / 96 kHz です。
モノラル入力・ステレオ出力のトラックに挿入できない	noshige73 は、モノラル入出力またはステレオ入出力で動作します。モノラルまたはステレオのトラックでお使いください。
EQ バンドのオートメーションのタイミングが正確でない	EQ バンドの変更が音に反映されるまで、最大で約 0.2 秒かかります。サンプル単位の精度ではありません。ゆるやかなオートメーションでお使いください。
DAW のプラグイン一覧に表示されない	DAW のプラグインスキャンを実行してください。また、お使いの DAW の形式がインストール時に選択されていたかをご確認ください（Logic Pro は AU、Pro Tools は AAX、その他の多くは VST3）。

13.1 お問い合わせ

よくあるご質問は noshigesound.com/support にまとめています。解決しない場合は、noshigesound.com/contact からお問い合わせください。数営業日以内に返信いたします。不具合のご報告の際は、次の情報をお知らせいただけますと幸いです。

- プラグイン名とバージョン（「バージョンの確認」を参照）
- OS と DAW、およびそれぞれのバージョン
- プロジェクトのサンプルレートとバッファーサイズ、使用中のエンジン（GPU / CPU）、インスタンス数
- 問題が起きるまでの手順、期待した動作、実際に起きたこと

仕様

項目	値
プラグイン形式	macOS: VST3 / AU / AAX　Windows: VST3 / AAX
カテゴリ	エフェクト（EQ）。メーカー名：noshigeSound。
チャンネル	モノラル → モノラル、ステレオ → ステレオ（左右共通のコントロール）。
サンプルレート	44.1 / 48 / 88.2 / 96 kHz
レイテンシ	CPU：44.1 / 48 kHz で 256 サンプル、88.2 / 96 kHz で 512 サンプル。GPU：これに DAW のバッファー 2 つ分が加わります。DAW に通知されます。
信号の流れ	インプットゲインと `IN TRIM` → EQ → `DIGITAL Q` → `MIX` → Auto Gain → `OUT TRIM` → `PHASE`。
サイドチェイン入力、MIDI	なし。
ウィンドウ	100 % でワイド表示 1058 × 857、コンパクト表示 200 × 897。50 % 〜 300 %。
ファクトリープリセット	62 種類（7 フォルダー）。
プリセット形式	`.preset` (XML)

DAW から見えるパラメーター

DAW での名前	コントロール	範囲	オートメーション
HPF	HPF のノブ	OFF, 50, 80, 160, 300	可
Low Freq	LF の外側のリング	OFF, 35, 60, 110, 220	可
Low Gain	LF の内側のノブ	−16 … +16 dB	可
Mid Freq	MF の外側のリング	OFF, 360, 700, 1.6k, 3.2k, 4.8k, 7.2k	可
Mid Gain	MF の内側のノブ	−16 … +16 dB	可
High Gain	HF のノブ	−16 … +16 dB	可
EQ In	`EQL`	Off, On	可
Bypass	ヘッダーバーの電源ボタン	Off, On	可
Quality-Mode	`LITE / PRO`	LITE, PRO	不可
Input Gain	インプットゲイン（赤いノブ）	OFF、−10 dB … +20 dB（5 dB 刻み）	可
Phase	`PHASE`	Off, On	可
Auto Gain	`AUTO GAIN`	Off, On	不可
Low Bypass	LF のバイパス（グラフィック EQ ペイン）	Off, On	可
Mid Bypass	MF のバイパス（グラフィック EQ ペイン）	Off, On	可

DAW での名前	コントロール	範囲	オートメーション
Input Trim	IN TRIM	−12 ⋯ +12 dB	可
Output Trim	OUT TRIM	−12 ⋯ +12 dB	可
Mix	MIX	0 – 100 %	可
Digital Q	DIGITAL Q	Off, On	可
Low Q	LF の Q	0.30 – 2.00	可
Mid Q	MF の Q	0.20 – 8.00	可
High Q	HF の Q	0.30 – 2.00	可
Auto Gain Mode	Config メニュー	Track, Static, Snap	不可

法的事項

noshige73 のご利用には、noshigeSound の利用規約（noshigesound.com/legal/terms、英語）が適用されます。インストーラーに表示される使用許諾契約と利用規約の内容が異なる場合は、利用規約が優先します。プライバシーポリシーは noshigesound.com/legal/privacy に掲載しています。

VST は Steinberg Media Technologies GmbH の商標です。Audio Units および macOS は Apple Inc. の商標です。AAX および Pro Tools は Avid Technology, Inc. の商標です。Windows は Microsoft グループの商標です。NVIDIA および GeForce は NVIDIA Corporation の商標です。その他の製品名および会社名は各社の商標であり、互換性の説明のためにのみ使用しています。

本書は 2026 年 11 月 時点の noshige73 の内容に基づいています。以降のバージョンでは内容が異なる場合があります。

© 2026 noshigeSound Co. Ltd. All rights reserved.